

基本目標1 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた”やつしろ”

資料3

区分	KPI	No.	事前質問	回答	担当部
P1	1(1)稼げる農林水産業の実現				
	①～④全般として	1	農業、林業、水産業のそれぞれの過去30年間の取扱高(売上高)と生産者戸数の推移を教えてください。	別紙1、別紙2のとおり	農林水産部
	①いぐさ作付面積(ha)	2	令和元年度進捗率 -879%の説明を求めます。	H27に策定した「いぐさ・畳表についての構造調整計画」を基準に目標値を定めている。 策定時(601) ⇒ 目標(630) … 29の増 ⇒ 実績値(346)… 255の減 以上より進捗率を算出しており、-255/29より、-879%としている。	農林水産部
		3	い草・畳表の過去30年間の取扱高(売上高)と生産者戸数と輸入額の推移を教えてください。	別紙3のとおり	農林水産部
		4	い草・畳表の取扱高を拡大し稼ぐ生産者を出し、生産者を増やすための現在の支援策、それを中長期にわたって伸ばしていくための戦略はどのように立ててあるか。	労働力不足の解消や生産性向上を図るとともに労働環境の改善を図るため、ハーベスタ(収穫機)や移植機(植付け機)等の導入支援を行っている。 今後、1戸当たりの作付面積の拡大、品質向上による所得の増加を図っていく。	農林水産部
		5	い草・畳表の取扱高減少の一つに輸入畳表の増加(特にアパートで使用されることが多い)が要因と言われている。 輸入畳表の入れないようにする制度や八代産畳表の助成を八代市民のみならず県民にも対象を広げ、施主と直接やり取りする住宅メーカーや建築家へ普及活動をしてはどうか。	取扱高の減少要因としては、中国産畳表の輸入のほか、国内需要量の大幅な減少が挙げられる。 畳表の輸入については、熊本県の育成品種ひのみどりは、種苗法及び関税法に基づく輸入差し止めが可能である。ただし、種苗法に基づく品種登録の存続期間後は、輸入を阻止できなくなるため、海外へ苗を流出させないことが重要となっている。 畳表の県民への助成拡大は予算の確保が厳しい。需要拡大については、UR都市機構、全国工務店協会、日本木造住宅産業協会、全国中小建築工事業団体連合会等に対してPRを行い、利用拡大への協力を要請している。また、全国の畳店を対象に熊本畳表応援店制度を設け、需要拡大を推進しているところ。	農林水産部
	④木の駅プロジェクト取扱量(t)	6	海外への需要が高まることにより、木の駅への出荷量が減少した理由を分かりやすく説明してほしい。	木の駅の1tあたりの取引価格は6,000円に固定しており、海外への需要の高まりと併せ輸出価格が高くなると輸出へ出材されるため、木の駅への集荷量は減少することとなる。	農林水産部

P1	1(2)フードバレーやつしろ基本戦略構想の推進				
	①6次産業化・農商工連携による新商品開発数(商品)	7	<p>・新商品開発における開発～販売までのトータルの支援、これまで商品開発された商品の売上などとはどのようなになっているか。</p>	<p>新商品の開発状況については、業務委託している6次産業化推進アドバイザーの豊富な知識や国内外に通ずる人的なネットワークなどを活用しながら、個別相談会や事業者訪問等により新商品開発の支援を実施している。相談会等では、事業者の状況を丁寧にヒアリングした上で、幾つかの選択肢に絞り、事業者自ら最善と思われる方法や手段へと導く等、新商品の開発に向け支援をし、開発後は、新商品の販路開拓を中心に適宜アドバイスしている。</p> <p>また、開発(販売開始)時には、市長表敬と併せて新聞・テレビ等のメディアを活用した発表、併せて、福岡市での観光物産展、市のHPへの掲載、市役所(フードバレー推進課)窓口での展示も行っている。</p> <p>なお、令和元年度は、7つの新商品が開発され総額で、約1,000万円の売り上げとなっている。</p> <p>中でも、腸内環境を整える“スーパー食材”として注目されている『もち麦』を使った「甘酒」は、甘さ極控えめで毎日飲める甘酒として、市内はもとより、JR九州の贈答品としても売り出されており、6,000本を売り上げている状況である。</p>	農林水産部
	③八代港を利用した農林水産物の輸出コンテナ数(TEU)	8	目標設定は適切であったか。進捗率1271%。	当初KPI設定時においては、実績の3倍程度を見越していたが、H30年度に新コンテナターミナルが拡充整備されたこと、関係機関のポートセールスによる八代港の更なる認知度向上が図られたことにより、目標を上回る成果につながったと考える。	農林水産部
P2	2(1)成長産業化への多面的な支援の展開				
	①販路拡大等に向けた展示会等への出展支援件数	9	展示会で実際に商談が成立した内容を教えてほしい。	<p>未来チャレンジ企業創出支援事業で認定している企業(全7社)のうち2社(業種は異なる)が3つの展示会に参加したことから支援を実施。事業完了後(展示会出展後)に企業から報告は以下のとおり。</p> <p>【A社】 展示会出展回数:国内2回 実績:即発注9件、今後発注見込4件</p> <p>【B社】 展示会出展回数:海外1回 実績:商談成立なし。</p> <p>以下、B社からの報告。 海外の複数業者から大口発注の問い合わせが寄せられたものの、生産許容量を超えていたため契約には至らなかった。また、海外の他展示会で自社製品の模造品が出展されている情報が数件寄せられた。今後の事業展開として、増産に向けた体制整備と知財管理の強化が必要と思慮。</p>	経済文化交流部

P3		2(2)「人材」の確保・育成・支援																																																				
		10	高校を卒業すると約半分の人が進学、就職のため八代市を離れ、その後も地元に戻ってこないそうだが、若者が地元で働きたいと思う業種、職種を誘致すること、それを目標にしてはどうか。	若者に人気のある、情報系・事務系企業の誘致を積極的に進めており、平成28年度から5社を誘致。また、求人企業が求めるITスキルの高い人材を育成するため、プログラミングスクール等を全国展開している企業を本町アーケードに誘致するなど、各種事業を進めている。	経済文化交流部																																																	
	①農林水産業の新規就業者数	11	評価の関係機関の具体的名を教えてください。	県、八代農業高校、JAやつしろが関係機関となります。	農林水産部																																																	
	⑥インターンシップの受入れ企業数	12	目標値20は適切であったか。	目標値20社は、高校新卒者の市内就職を増加させる(120人⇒200人)ことを目指し、毎年市内企業20社が課題解決型インターンシップ等で10人ずつ(合計200人)を受入れることを目標としていた。 年を重ねるごとに市内の高校との連携が強まり、企業とのマッチングを支援する機会が増加。 当初目指していた形態とは異なる部分もあるが、参加される学校や学生が求めるインターンシップとしてマッチングの支援を行った結果、受入れ企業数が大幅に増加することとなった。	経済文化交流部																																																	
P4		3(1)国際貿易港「八代港」の振興																																																				
	①八代港のコンテナ取扱量(TEU)	13	評価について、九州内の他の港の動向(例:鹿児島港)はどうなっているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>前年比</th> <th>H30</th> <th>前年比</th> <th>H31</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博多港 (福岡県)</td> <td>991,647</td> <td>(2.6%)</td> <td>1,033,569</td> <td>(4.2%)</td> <td>1,029,549</td> <td>(△0.4%)</td> </tr> <tr> <td>伊万里港 (佐賀県)</td> <td>58,782</td> <td>(4.5%)</td> <td>62,577</td> <td>(6.4%)</td> <td>62,452</td> <td>(△0.2%)</td> </tr> <tr> <td>細島港 (宮崎県)</td> <td>32,477</td> <td>(△1.0%)</td> <td>30,154</td> <td>(△3.0%)</td> <td>29,862</td> <td>(△1.0%)</td> </tr> <tr> <td>鹿児島港 (鹿児島県)</td> <td>128,280</td> <td>(0.6%)</td> <td>135,107</td> <td>(5.3%)</td> <td>157,331</td> <td>(16.4%)</td> </tr> <tr> <td>志布志港 (鹿児島県)</td> <td>98,962</td> <td>(10.4%)</td> <td>102,627</td> <td>(3.7%)</td> <td>100,505</td> <td>(2.1%)</td> </tr> <tr> <td>八代港 (熊本県)</td> <td>20,996</td> <td>(6.3%)</td> <td>23,065</td> <td>(5.5%)</td> <td>23,357</td> <td>(1.2%)</td> </tr> </tbody> </table>		H29	前年比	H30	前年比	H31	前年比	博多港 (福岡県)	991,647	(2.6%)	1,033,569	(4.2%)	1,029,549	(△0.4%)	伊万里港 (佐賀県)	58,782	(4.5%)	62,577	(6.4%)	62,452	(△0.2%)	細島港 (宮崎県)	32,477	(△1.0%)	30,154	(△3.0%)	29,862	(△1.0%)	鹿児島港 (鹿児島県)	128,280	(0.6%)	135,107	(5.3%)	157,331	(16.4%)	志布志港 (鹿児島県)	98,962	(10.4%)	102,627	(3.7%)	100,505	(2.1%)	八代港 (熊本県)	20,996	(6.3%)	23,065	(5.5%)	23,357	(1.2%)	経済文化交流部
	H29	前年比	H30	前年比	H31	前年比																																																
博多港 (福岡県)	991,647	(2.6%)	1,033,569	(4.2%)	1,029,549	(△0.4%)																																																
伊万里港 (佐賀県)	58,782	(4.5%)	62,577	(6.4%)	62,452	(△0.2%)																																																
細島港 (宮崎県)	32,477	(△1.0%)	30,154	(△3.0%)	29,862	(△1.0%)																																																
鹿児島港 (鹿児島県)	128,280	(0.6%)	135,107	(5.3%)	157,331	(16.4%)																																																
志布志港 (鹿児島県)	98,962	(10.4%)	102,627	(3.7%)	100,505	(2.1%)																																																
八代港 (熊本県)	20,996	(6.3%)	23,065	(5.5%)	23,357	(1.2%)																																																

## 基本目標2 人をひきつけ、人が集う、活気ある”やつしろ”

No.	KPI	No.	事前質問	回答	担当部	
P5	1(2)世界に打ち出す観光業の展開					
	①クルーズ船の来航数(回) ③クルーズ船等により観光や買い物等を目的に市内に訪れた外国人数	14	①によると、クルーズ船の大幅な来航数増加が見られるが、③の評価では、クルーズ客船の大幅な減少と記載があり、相反しているが、原因は他にあるのではないか。	目標値および実績値が、単年度の数値か、策定時からの累計による数値かで表現が異なる結果となっている。 ①のクルーズ船の来航数は、平成27年度からの累計回数による目標で、平成29年度に66回、平成30年度に30回と計画時より大幅な増加があったため目標値を大きく上回る結果となっている。ちなみに令和元年度の単年度での来航数は14回。 ③の来訪外国人数は単年度の目標で、クルーズ船来航時のシャトルバス利用外国人の数となっている。策定当初は1隻あたり800名で計画を設定したが、実績では1隻あたり300名程度と想定を下回ったうえに、平成29年度をピークにクルーズ船の来航数が減少したため、目標数に届かなかったもの。	経済文化交流部	
P6	1(3)スポーツツーリズムの推進					
	②全国規模のスポーツ大会等の開催・誘致件数	15	目標設定は適切であったか。	計画策定以前は、年間の全国規模の大会開催実績が全国ABCバド1件で、目標設定時には全国大会規模の開催予定はなく、新たな全国規模大会の招致となると、競技団体等との様々な調整や開催経費も確保も必要なため、新規の目標開催・誘致件数を3件とした。当時の状況から目標設定は適切であったと考えている。 目標期間中にABCバドミントン大会の開催期間の延長、インターハイ2競技、世界ハンド本大会、プレ大会(ハンドアジア選手権)、ハンド実業団大会、ボルターズの試合等が重なったことから、目標値を大幅に上回った。	経済文化交流部	
P7	2(1)移住定住の推進					
		16	移住定住のための支援、助成を教えてください。	別紙4 移住定住支援メニューのとおり。 移住してきた方に特化した助成は、地方創生交付金事業の移住支援金のみ(別紙5)。ただし実績はない。	総務企画部	
P7	2(2)中心市街地のにぎわい創出					
	②中心商店街の新規出店数	17	出店数と撤退数を確認し、その差を明確にすることが必要である。	H30年度 商店街の出店・開業店舗数：2店舗 閉店・廃業店舗数：17店舗  H31年度 商店街の出店・開業店舗数：8店舗 閉店・廃業店舗数：11店舗	経済文化交流部	

### 基本目標3 誰もが希望をもって暮らせる”やつしろ”

No.	KPI	No.	事前質問	回答	担当部
P8	1(1)結婚・出産・子育てへの支援の展開				
	①妊娠届出数	18	進捗率-318%の説明を求める。	<p>策定時の平成26年度までの妊娠届出数は横ばいに推移していましたが、平成27年度から減少割合が大きくなっています。これは、妊娠適齢期と考えられる20歳～34歳の女性人口が、平成26年4月の9,643人から令和2年2月の8,970人と、673人減少していることや、晩婚化、未婚化の影響があると考えます。</p> <p>なお、合計特殊出生率を見ると全国1.43と低迷する中、八代市は1.72と県平均1.66を上回っています。</p> <p>そのような中、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが必要と考え、令和元年度からは、産後ケア事業を、また、令和2年度からは、子育て世代包括センター事業を新たに開始し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援強化に努めています。</p> <p>このような取組もあり、令和2年4月～8月に実施した4か月健診時のアンケートでは、「今後もこの地域で子育てしていきたいか」の質問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した者の割合が、前年度同時点の93.9%から97.1%と高くなっています。</p> <p>今後も少子化対策等の関係部署と連携し、妊産婦、乳幼児支援の充実を図ってまいります。</p>	健康福祉部
	③地域子育て支援センター・つどいの広場利用者数(延数)(人/月)	19	進捗率-2495%の説明を求める。	<p>これらの施設は、幼稚園、保育園等の未就園児を持つ親子が利用しており、利用者数の減少の要因としては、出生数の減少や共働き家庭の増加に伴う保育園等の就園率の増加が考えられます。</p> <p>加えて、令和元年度の終盤にかけて新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を自粛される方や、また施設において、利用を予約制にしたり、同時利用者数の制限を行うなどの感染症対策を行った結果、例年に比べ大きく減少したものと考えます。</p> <p>現在、広報誌やリーフレット、子育て総合情報サイト「やつしろあったかねっと」を活用し、制度や窓口の周知を図っています。また、今後は保護者ニーズに対応するよう活動内容の充実にも努めてまいります。</p>	健康福祉部

### 基本目標4 "やつしろ"の発展を支えるまちづくり

No.	KPI	No.	事前質問	回答	担当部
P12	1(1)誇れるふるさとづくり				
	①コミュニティビジネス実施地域数	20	コミュニティビジネス実施地域数10件の内容を知りたい。	<p>コミュニティビジネスの実績地域数:10地域(令和2年9月まで)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東町地域まちづくり協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭づくりとその販売</li> </ul> </li> <li>2. 坂本住民自治協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・球磨川再生シルバー事業:食処さかもと鮎やなの運営</li> </ul> </li> <li>3. 東陽まちづくり協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東陽地域山村活性化協議会での事業:炭づくりと販売、ヤマメ養殖と販売等</li> </ul> </li> <li>4. 泉まちづくり協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・川遊びインストラクターの養成及び地域資源を活用した体験メニュー事業</li> </ul> </li> <li>5. 八千把校区まちづくり協議会(小規模)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収事業</li> </ul> </li> <li>6. まちづくり協議会みやじ(小規模)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・妙見祭商品販売等事業</li> </ul> </li> </ol> <p>【H30年度追加】(小規模3件追加)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 千丁校区まちづくり協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いぐさの里納涼祭での販売事業</li> </ul> </li> <li>8. 日奈久住民自治会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭での販売事業、おが町日奈久ニュース広告料収入</li> </ul> </li> <li>9. 高田まちづくり協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつり・コミセンまつりでのバザー等の売上げ収入</li> </ul> </li> </ol> <p>【R元年度追加】(小規模1件追加)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. 松高自治協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・松高ふれあい祭りでの販売事業</li> </ul> </li> </ol>	市民環境部
	②国指定文化財件数	21	進捗率0%の表示は取組が消極的すぎないだろうか。	<p>本市における国指定文化財の件数は11件であり、今後12件とすることを目指している。</p> <p>現在、文化庁及び県の指導・助言を受けながら、『八代干拓遺跡群』(仮称)の国史跡指定の申請手続きに向けた作業を進めているところである。</p>	経済文化交流部

P13	2(1)「生活基盤」の整備				
	⑨ケーブルテレビインターネット利用者数	22	人口減少のため利用者数が減少しているとのことだが、今後の見通しを確認したい。	利用者数は、R1年度まで微減であったが、R2年度は、豪雨災害があり、特に坂本地区では避難や転居で減少が著しい。 令和4年度に完了する光ブロードバンドの整備後は、ケーブルテレビインターネット利用者は、光ブロードバンドサービスの利用者に順次切り替わる予定である。	総務 企画部
P14	2(2)災害に強いまちづくり				
	③自主防災組織結成率(%)	23	目標に対して未達成となっているが、達成できなかった理由について確認したい。	未結成地域には、高齢化が進み自主防災組織を結成することが困難な地域が多い。 また、自主防災組織を結成しなくても問題ないと考えている地域もあるため、必要性についてご理解いただくよう働き掛けを行っていく。	総務 企画部
P15	2(4)地域間連携の推進				
	①定住自立圏共生ビジョンに基づく具体的取組み数	24	具体的内容が不明。説明を求める。	『定住自立圏共生ビジョン』とは、地方圏から都市圏への人口流出を食い止めるとともに、都市圏から地方圏への人の流れを創出することを目的として、地方圏において安心してくらす地域を各地に形成する『定住自立圏構想』に基づいて作成するもの。 八代市と氷川町と芦北町で、『定住自立圏共生ビジョン』を作成し、目標の40に対して、実績51の具体的な取組を実施している。	総務 企画部